

今回の取り組みの概要



- 中部電力グループ初のオフサイトPPAにより、新設する東海理化専用の太陽光発電所（東海理化ソーラー）から発電された環境価値付き電気を長期間お届けするサービスです。加えて、長野県産水力発電所を活用した「信州Greenでんき」を活用し、更なる脱炭素化を推進することで「東海理化ソーラー」立地県である長野県への再エネ開発活動にも貢献します。
- 東海理化カーボンニュートラル戦略への取り組みへのチャレンジにおいては、本社や工場内の自助努力はもとより、オフサイトでの新たな再生可能エネルギーの導入拡大が不可欠であり、両社において本取り組みを推進していくことで、長期にわたり安定的な再生可能エネルギーの調達を実現し、CO2削減に寄与して参ります。

